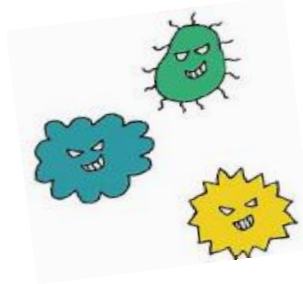




## 1. 「<sup>しんがた</sup>新型<sup>しんがた</sup>コロナウイルス」って何？



<sup>こんかい</sup>今回はコロナウイルスについてのおはなしです。みなさんもインフルエンザウイルスは知っていますね？コロナウイルスはインフルエンザと同じようにヒトのからだに入ると、<sup>はい</sup>発熱や<sup>はつねつ</sup>せきといった<sup>しょうじょう</sup>症状をひきおこす“<sup>びょうげんたい</sup>病原体”のひとつです。インフルエンザにはA型やB型といったいくつかの種類があります。コロナウイルスにも<sup>ふつう</sup>普通のかぜの<sup>げんいん</sup>原因になる4つのタイプがあることが知られていますが、いのちにかかわるような<sup>じょうきよう</sup>状況を<sup>お</sup>起こすタイプも3種類あることがわかっています。いま、<sup>りゅうこう</sup>流行しているコロナウイルスはいのちを<sup>お</sup>落とすほど<sup>おも</sup>重くなることもあるタイプのひとつで、これまで<sup>けいけん</sup>経験したことがなかったため“<sup>しんがた</sup>新型”と呼ばれています。そして、いまのところ<sup>よぼう</sup>予防するのに<sup>ひつよう</sup>必要なワクチンや<sup>なお</sup>しっかりと<sup>じぶん</sup>治せるクスリがなく、<sup>ばあい</sup>もしも自分がなった場合に<sup>おも</sup>重くなるかもしれないとみんなが<sup>しんぱい</sup>心配しているのです。

では、どんな<sup>しょうじょう</sup>症状が<sup>で</sup>出るのでしょうか？いままで<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルスにかかったヒトたちの<sup>はなし</sup>話から、<sup>どいじょう</sup>37.5度以上の<sup>つづ</sup>ねつが<sup>つづ</sup>続き、<sup>せき</sup>せき、<sup>だるさ</sup>だるさ、<sup>のど</sup>のどや<sup>いた</sup>からだの<sup>いた</sup>痛みなどインフルエンザに<sup>に</sup>似た<sup>しょうじょう</sup>症状が<sup>で</sup>出ると呼ばれています。また、<sup>た</sup>においや<sup>もの</sup>食べ物の<sup>あじ</sup>味が<sup>かん</sup>感じられなくなることもあることがわかっています。

ます。一方で、<sup>いっぽう</sup>新型<sup>しんがた</sup>コロナウイルスに<sup>かんせん</sup>感染したヒトの中にもほとんど<sup>なか</sup>気づかないくらい<sup>しょうじょう</sup>症状が<sup>かる</sup>軽いヒトもいれば、息が<sup>いき</sup>出来なくなるほど<sup>くる</sup>苦しくなるなどして<sup>な</sup>亡くなってしまふヒトまでいます。ただ、いつも<sup>げんき</sup>元気<sup>な</sup>にしている子どもたちの<sup>しょうじょう</sup>症状や<sup>けいか</sup>経過は、<sup>かる</sup>軽いということが<sup>おおい</sup>多いと言われているので、みなさんは<sup>じぶん</sup>自分が<sup>もしも</sup>なったら<sup>どうしよう</sup>どうしようとして<sup>かど</sup>過度に<sup>しんぱい</sup>心配<sup>ひつよう</sup>しすぎる必要はないと思います。でも、あなたも<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルスにかかった<sup>ばあい</sup>場合に<sup>ぜったい</sup>絶対に<sup>くる</sup>苦し<sup>い</sup>くならないとは言えないし、<sup>まわ</sup>周りの<sup>ともだち</sup>友達の中<sup>なか</sup>には<sup>たたか</sup>ウイルスと<sup>たたか</sup>戦うことがとても<sup>たいへん</sup>大変な<sup>こ</sup>子もいます。みんなの<sup>とう</sup>お父さんや<sup>かあ</sup>お母さん、<sup>おじい</sup>おじいさん、<sup>おばあ</sup>おばあさんだけでなく、<sup>きんじょ</sup>近所のお年寄りや<sup>びょうき</sup>病気を<sup>も</sup>持った方たちに<sup>かんせん</sup>感染すると、とても<sup>くる</sup>苦しい<sup>おも</sup>思いをするようなことが<sup>お</sup>起こる<sup>かのうせい</sup>可能性があります。そのために<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルスに<sup>き</sup>うつらないように<sup>き</sup>気をつけなければなりません。また、みなさんに<sup>しょうじょう</sup>症状が<sup>なにも</sup>なくとも、<sup>し</sup>知らない<sup>あいだ</sup>間にかかっていることもあります。その<sup>ばあい</sup>場合には、ほかのヒトに<sup>うつ</sup>うつさないようにするためにひとりひとりが<sup>ひ</sup>日ごろから<sup>ちゅうい</sup>注意して<sup>す</sup>過ごすことが<sup>たいせつ</sup>大切です。

ウイルスはみなさんの<sup>め</sup>目では<sup>み</sup>見ることが<sup>でき</sup>出来ないほど<sup>ちい</sup>小さなものです。

<sup>おお</sup>大きな<sup>こえ</sup>声で<sup>はなし</sup>話をしたり、<sup>うた</sup>歌ったり、くしゃみやせきをしたときに<sup>し</sup>知らぬ<sup>あいだ</sup>間に<sup>と</sup>飛び<sup>ち</sup>散る<sup>なか</sup>つばの中<sup>な</sup>にいます（<sup>ひまつかんせん</sup>飛沫感染）。「マスクをしましょう」「うがいをしましょう」「<sup>みせ</sup>（お店のレジなどで）<sup>すこ</sup>少し<sup>はな</sup>離れたところ<sup>ま</sup>で<sup>まち</sup>待ちましょう」と

い  
言われていませんか？

とち  
飛び散ったウイルスがついているどこかをさわってしまい、その手でめをこ  
すったり、くちさわ  
すったり、口を触ったり、ものた  
物を食べたり、はな  
鼻をほじったりしたときからだに  
はい  
入りこむことがあります（せつしょくかんせん  
接触感染）。だいじ  
大事なのはからだ  
身体についたり、さわ  
触ったり  
するだけではうつらないということです。「てあら  
手洗いをしましょう」「しょうどく  
消毒をしま  
しょう」と言われていませんか？みんなが言っているのはそういうことなので  
す。（後藤 裕介 児童心理治療センターうぐいすの杜所長）

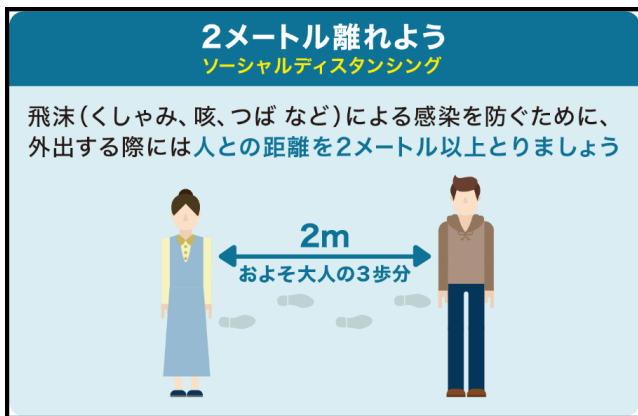


図: Yahoo! JAPAN; 新型コロナウイルス  
感染症のまとめ

